

授業科目

栄養教育論実習

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	2	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	90 (内45)

【一般目標：G I O】

栄養アセスメント、情報の分析、問題点の把握、栄養教育プログラム作成までの作業を行い、個人及び小集団への栄養教育プログラム作成に必要な基本的な技術を修得する。

【行動目標：S B O】

1. 栄養アセスメントの技術を身につける。
2. アセスメント結果に基づき、栄養必要量と食品必要量を定めることができる。
3. 収集した情報を分析し問題点を抽出する技術を身につける。
4. 個別及び小集団の栄養教育プログラムの作成技術を身につける。
5. 栄養教育媒体作成の技術を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1-4	栄養アセスメント (身体測定、安静時代謝量測定、生活時間調査、食事調査)	1.	講義及び実習
5	食事調査法 (FFQ) の妥当性の検討	1.	講義及び実習
6	栄養アセスメント結果に基づき、推定エネルギー必要量、栄養必要量、食品必要量を算出	2.	講義及び実習
7	栄養アセスメント結果に基づき、個人の問題点を抽出	3.	講義及び実習
8	栄養アセスメント結果に基づき、集団の問題点を抽出	3.	講義及び実習
9-12	集団教育計画の立案作成、教材作成	4.5	講義及び実習
13	集団教育計画案の発表	4.5	発表
14	集団教育計画案の発表	4.5	発表

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	アクティブ栄養指導実習	永野君子	医歯薬出版	最新版 ¥2,200+税
参考書	日本人の食事摂取基準 (2005年版) の活用 今なぜエネルギー代謝か	細谷憲政	国立健康・栄養研究所監修 第一出版	第一出版
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】

出席状況、授業中の態度、レポート、
その他提出物から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

毎回パソコンを使用するので、各自持参してください。